

FD委員会便り

令和3年3月17日発行
新潟県立大学 FD 委員会

令和2年度公開授業が下記の通り開催されました。

授業科目：ジェンダーと社会

担当教員：国際地域学部 石川 伊織 教授

日時：令和3年1月15日（金）2限 10:35～12:05

場所：大学院棟1階 4101 講義室



<講義の概要>

この講義では、一年次配当の「ジェンダー論」講義でジェンダーに関する基礎的な知識を学んでいることを前提に、日本の現代社会におけるジェンダーをめぐる諸現象を取り上げ、問題の所在を探究してきた。2017年度からは、新潟女性史クラブのご協力を得て、新潟の女性運動の近年の展開を新潟日報の記事データベースを通して知るとともに、目下問題となっている諸課題に対して新潟ではどのような動きがあるのかを探究してきた。

本年は、11月までに集中的に記事データベースの検索を行い、12月以降討論を行うこととした。1月15日の講義は、以上のような資料収集に基づく討論に充てられる。学生に加えて、新潟女性史クラブの皆様にもご参加いただき、近年の新潟の女性運動をご自身で担ってきた当事者としてのご発言を通して、学生の発言を促し、深めていただくことになっている。

学生は、各自それぞれに、夫婦別姓やDV、女性の政治参加等の現在も解決を見ない諸課題を調べ、新聞記事を基に意見をまとめている。公開授業に参加される先生方にも討論に加わっていただき、同時代を生きる大人の立場から学生の学習にアドバイスを頂戴できれば幸いである。（令和2年度「公開授業」のお知らせ「当日の授業について」より）

当日は、課題1「女性と労働」、課題2「女性と政治」、課題3「DV家族」、課題4「らしさ、ジェンダー」の4班に分かれ、それぞれに女性史クラブと教員が加わって討論を行った。

<公開授業参加者アンケートから> 抜粋（趣旨を変えずに編集してあります）

1. 研修会の感想

- ・学生が調べてきたことをもとに発表し討論する授業だった。教員側の認識と異なる考え方について適切にコメントするのが難しかった。ジェンダーについての見方が異なっていると感じたからかもしれない。
- ・I am impressed with students' performance. They conducted excellent research on the topics and provided sharp and critical perspectives.
- ・討論会はとても盛り上がっていて、いい論点と視角がたくさん取り上げられ、学生の素質はとても素晴らしいと思います。感心しました。

- ・学生たちは様々な視点から新聞記事をよく調べていて、大変興味深い内容だった。
- ・女性史クラブの方々も授業に参加して一緒に討論するという機会は学生にとっても、とても貴重であると思いました。4つのテーマに分かれて討論するというアクティブ・ラーニングの取り組みが素晴らしいですし、討論するための資料として、学生たちが新聞記事を読み込んでいること、このような授業計画が素晴らしいと思いました。
- ・学生たちのみならず、新潟市民にとって、意義深い授業（作業）を行っておられると思いました。学生たちにとっては、ジェンダーの問題を、理論だけでなく、具体的な地域の歴史とつなげる作業となるし、その作業をとおしてジェンダーの問題が“自分ごと”として立ち上がってくると思います。また、若い世代が、最近の学問的知見をふまえつつ、歴史を振り返るという作業は、地球の運動を支える基礎を作っていくことにもつながると思いました。
- ・先生をはじめ、学生さん達もマスクをしながらの発言は大変で、本当に皆さんの取組に感嘆しました。学生さん達には、もう一段の深掘りをしてから参加して欲しいと感じました。特に学生さん達の現に起きている事象に対してのみの発言に集中しがちでしたが、石川先生の考えさせるように示唆する助言はさすがと思いました。
- ・自由に議論して、様々な良い idea が出ています。

2. 講習会で学んだことを、今後どのように活かしたいと考えますか。

- ・様々な事実にふれることで、自分の認識をあらたにし、討論により深めるという方法は生かしていきたいと考えた。
- ・Use local material and cooperate with local media.
- ・これらの歴史資料を活用し、地方との連携は大事だということを再認識しました。
- ・コロナの影響でソーシャル・ディスタンスを確保する必要があるのは理解できるが、グループ討論する際に、発表者の声が聞きづらい場面があった。自分の授業にグループ討論を取り入れる際に参考にしたい。
- ・実際に新聞記事を使って、学生たちが各自のテーマについて調査しているという取り組みが素晴らしいと思いました。
- ・さまざまな問題を「地球の歴史」とつなげて考えるという視点は、自分の授業にも取り入れたいと思った（例えば、新潟空港—1950年代まで米軍基地だった—の反対運動を含めた歴史など）。また学生たちが1つ1つの「事実」と触れ合いながら、自分で考え、討論するというプロセスも参考になりました。ありがとうございました。
- ・議論する授業の場合、リーダー的な学生と、フリーライダーの発生がおきることをどうフラットにしていくかが難しいと思われた。4つのグループがそれぞれやや大きかったので、さらに各カテゴリーの中で4人位ずつに分けるのも一案かと思われた。議論が果てないテーマを扱われ、教員の力量がないと難しい授業だと思われました。大変な授業運営、ありがとうございます。
- ・反省の課題：group discussion で学生がもっと積極的に議論に参加する方法。